

医療だより

市民医療センター

戸田市美女木4-20-1

☎ 421-4114 FAX 421-4218

国際興業バス 西川口ー北戸田線

●「市民医療センター」下車

tocoバス(美笹循環)

●「市民医療センター」下車



診療科目

● 内科、小児科、消化器内科、神経内科、呼吸器内科、整形外科、耳鼻咽喉科
診療科目によっては、診療日が決まっている場合があります

受付時間

- 月曜日 午前8時30分～11時30分、午後2時～5時
- 火～金曜日 午前8時30分～11時30分、午後1時30分～5時
- 土曜日 午前8時30分～11時30分、午後1時30分～4時
- 予防接種：月・水・金曜日(要予約)

休日・平日夜間の診療機関(急患)

かかりつけ医を持ち、早めの受診を心掛けましょう

※休日・平日夜間の診療機関は、診療時間内に受付を済ませてください

新型コロナウイルスの影響がある中、急患(夜間休日)診療所の運用を次のとおりとします。

- ・現行通り、当面の間は蕨のみで開所します
- ・インフルエンザ迅速検査は原則行いません

【内科・小児科】 ※詳しくは蕨戸田市医師会ホームページをご覧ください

戸田休日・平日夜間急患診療所

●蕨戸田市医師会館となり

4月は開所しません。

蕨休日・平日夜間急患診療所

●蕨市福祉・児童センター内 ☎ 431-2611

休日診療日 4/4、11、18、25、29、

5/2、3、4、5、9

休日診療時間 午前9時～正午、午後1時～5時

平日夜間診療月 4月・5月

毎週月～金曜日の平日夜間診療時間

午後7時30分～10時30分 ※休日を除く



【小児科】 ※平日夜間診療時間のあと

毎週月～金曜日の平日夜間診療時間 午後10時30分～翌朝7時

※受診される場合は、必ず事前に各医療機関に電話でお問い合わせください

月・水・木・金曜日 ●戸田中央総合病院(戸田市本町1-19-3 ☎ 442-1111)

火曜日 ●済生会川口総合病院(川口市西川口5-11-5 ☎ 253-1551)

救急電話相談

#7119 ☎ 048-824-4199 (ダイヤル回線、IP電話、PHS、都県境の地域でご利用の場合)

24時間相談対応 年中無休

急な病気(発熱、下痢、嘔吐など)やけがの、家庭での対処方法や医療機関の受診の必要性について、看護師が電話で相談に応じます。判断に迷ったときは気軽にご連絡ください。

※AI救急相談も行っています。右のQRコードから、スマートフォンなどでご利用ください。この電話相談およびAI救急相談は助言を行うもので、診断や治療を行うものではありません

問い合わせ 県医療整備課 ☎ 048-830-3559



県精神科救急情報センター

☎ 048-723-8699 (ハローキューキュー)

夜間・休日に、精神疾患を持つ方や、その家族などからの緊急的な精神科医療相談を、電話で受け付けています(県在住者が対象)。

※非通知設定の電話はつながりません

受付時間 月～金曜日：午後5時～翌朝8時30分、

土・日曜日、祝日：午前8時30分～翌朝8時30分

問い合わせ 県立精神保健福祉センター ☎ 048-723-3333

【産婦人科】診療時間

午前9時～正午、午後1時～5時
※当番医は変更になる場合もあります。受診前に必ず電話でお問い合わせください。受診は急患のみです

4月4日(日)	桜公園クリニック ☎ 446-3950 戸田市新曽南3-12-18
4月11日(日)	白石はなもレディースクリニック ☎ 434-4809 戸田市新曽2200-2 ロイヤルメドウ北戸田2F
4月18日(日)	戸田中央産院 ☎ 444-1181 戸田市上戸田2-26-3
4月25日(日)	蕨市立病院 ☎ 432-2277 蕨市北町2-12-18
4月29日(祝・木)	飯田クリニック ☎ 441-2730 蕨市南町2-14-8
5月2日(日)	蕨市立病院 ☎ 432-2277 蕨市北町2-12-18
5月3日(祝・月)	戸田中央産院 ☎ 444-1181 戸田市上戸田2-26-3
5月4日(祝・火)	蕨市立病院 ☎ 432-2277 蕨市北町2-12-18
5月5日(祝・水)	戸田中央産院 ☎ 444-1181 戸田市上戸田2-26-3
5月9日(日)	西村レディースクリニック ☎ 447-5311 戸田市本町3-15-21

コラム

予防接種を受けましょう

昨年からの感染症といえば新型コロナ一色。世界中を震撼させていますが、今後ワクチン接種が進めば感染者数の減少、重症化の緩和が期待されます。

そもそも「ワクチン」とは何を目的に接種するのでしょうか? 新型コロナ以外にも、重症化し死に至る、後遺症を残す感染症は存在します。その予防の1つが「ワクチン接種」、つまりは予防接種です。小児期に行う定期予防接種はもちろんのこと、成人や、特に高齢者や免疫力の低下した方に接種をお勧めするのが「肺炎球菌ワクチン」です。新型コロナ肺炎や、すべての肺炎を予防するものではありませんが、肺炎の原因菌トップの肺炎球菌への感染予防、重症化緩和に効果があります。

肺炎球菌は3～5%の高齢者に常在します。免疫力が十分にあれば問題ありませんが、低下すると肺炎など感染症を引き起こし、重症化させます。毎年度4月1日～翌年3月31日の間で対象年齢の方は1回のみ「定期接種」として予防接種が受けられ、接種後5年間は効果が持続します。

予防というのは効果が実感しにくいですが、特に65歳以上の方にとっては「健康寿命の延伸」につながり、乳幼児から高齢者まで自分でできる感染予防の1つです。コロナ禍だからこそ、十分な備えをしましょう。

問い合わせ 市民医療センター ☎ 421-4114